

---

**平成27年3月期 決算補足説明資料**

---

**国際石油開発帝石株式会社**

**2015年(平成27年)5月14日**

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

# 2015年3月期 決算ハイライト



	14年3月期	15年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	13,346	11,712	△1,633	△12.2%
原油売上高	8,587	7,304	△1,283	△14.9%
天然ガス売上高(LPG含む)	4,554	4,218	△335	△7.4%
その他	204	189	△15	△7.4%
営業利益 (億円)	7,336	5,348	△1,987	△27.1%
経常利益 (億円)	7,500	5,751	△1,749	△23.3%
純利益 (億円)	1,836	778	△1,058	△57.6%
1株当たり純利益 (円)	125.78	53.29	△72.49	△57.6%

期中平均株式数(連結)2015年3月期 1,460,357,200株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	107.56	86.57	△20.99	△19.5%
期中平均為替 (¥/\$)	100.17	109.77	9円60銭円安	9.6%円安

\*当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行いました。  
1株当たり純利益は、株式分割が2013年4月1日に遡及して適用されたものとみなして表示しております。

# 原油売上高

	14年3月期	15年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	8,587	7,304	△1,283	△14.9%

販売量 (千bbl)	79,171	80,558	1,387	1.8%
海外平均単価 (\$/bbl)	107.78	84.00	△23.78	△22.1%
国内平均単価 (¥/kl)	67,817	61,080	△6,737	△9.9%
平均為替 (¥/\$)	100.26	107.79	7円53銭円安	7.5%円安

地域別販売量 (千bbl)	14年3月期	15年3月期	増減	増減率
日本	861 (137千kl)	791 (126千kl)	△70 (△11千kl)	△8.1%
アジア・オセアニア	12,151	11,015	△1,135	△9.3%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	8,697	9,946	1,249	14.4%
中東・アフリカ	57,420	58,773	1,353	2.4%
米州	43	33	△10	△24.1%
合計	79,171	80,558	1,387	1.8%

# 天然ガス売上高(LPG除く)

	14年3月期	15年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	4,311	4,013	△298	△6.9%
販売量 (百万cf)	327,117	309,485	△17,631	△5.4%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	13.09	11.36	△1.73	△13.2%
国内分平均単価 (¥/m <sup>3</sup> )	50.31	57.56	7.25	14.4%
平均為替 (¥/\$)	100.08	108.26	8円18銭円安	8.2%円安

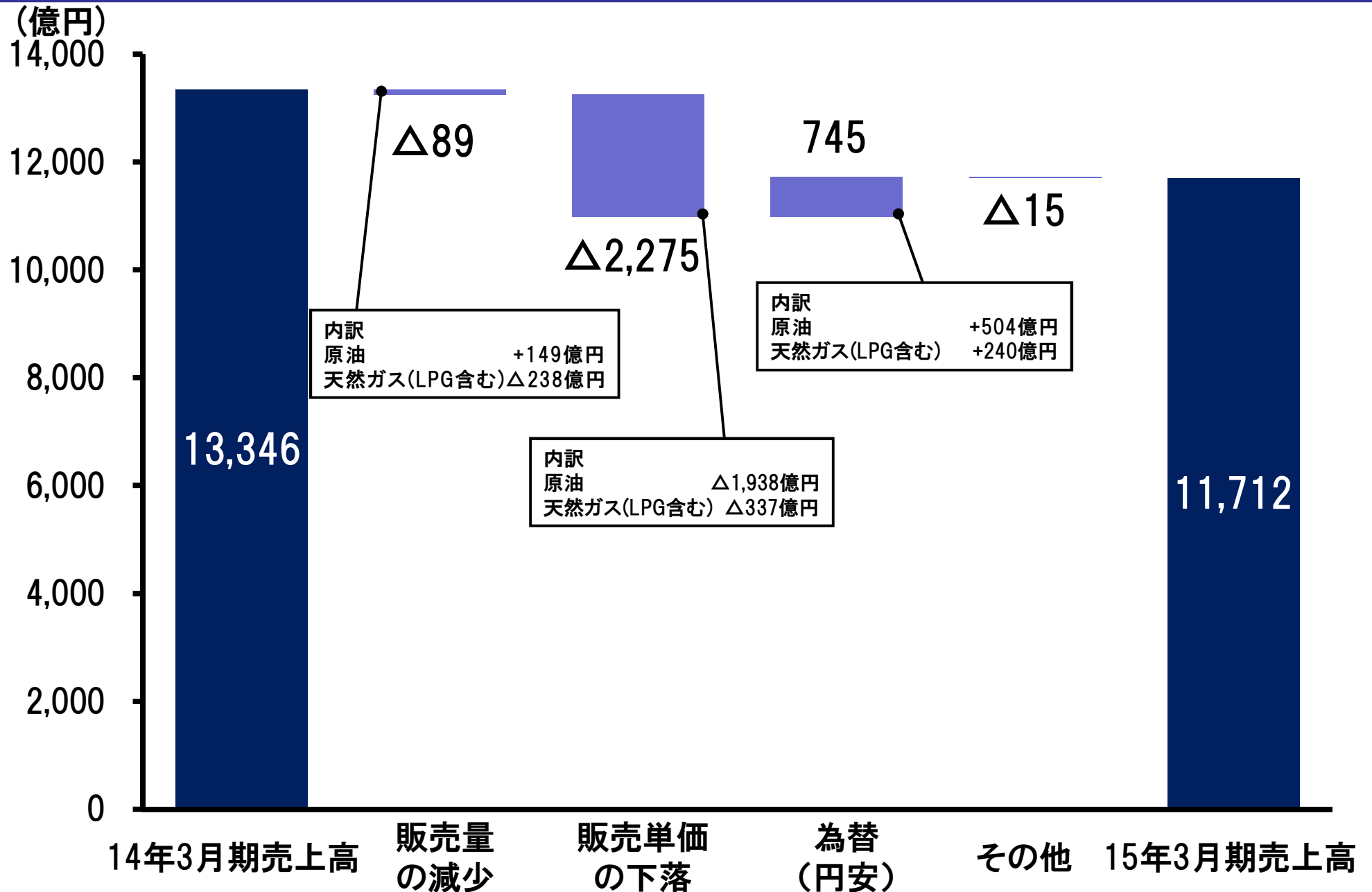
地域別販売量 (百万cf)	14年3月期	15年3月期	増減	増減率
日本	67,106 (1,798百万m <sup>3</sup> *)	66,679 (1,787百万m <sup>3</sup> *)	△427 (△11百万m <sup>3</sup> *)	△0.6%
アジア・オセアニア	219,771	204,231	△15,539	△7.1%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	40,240	38,575	△1,665	△4.1%
合計	327,117	309,485	△17,631	△5.4%

※ LPGの売上高は以下の通り。

\*1m<sup>3</sup>当たり41.8605MJ

	14年3月期	15年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	242	205	△37	△15.3%

# 2015年3月期 売上高 増減要因分析



# 損益計算書

**INPEX**

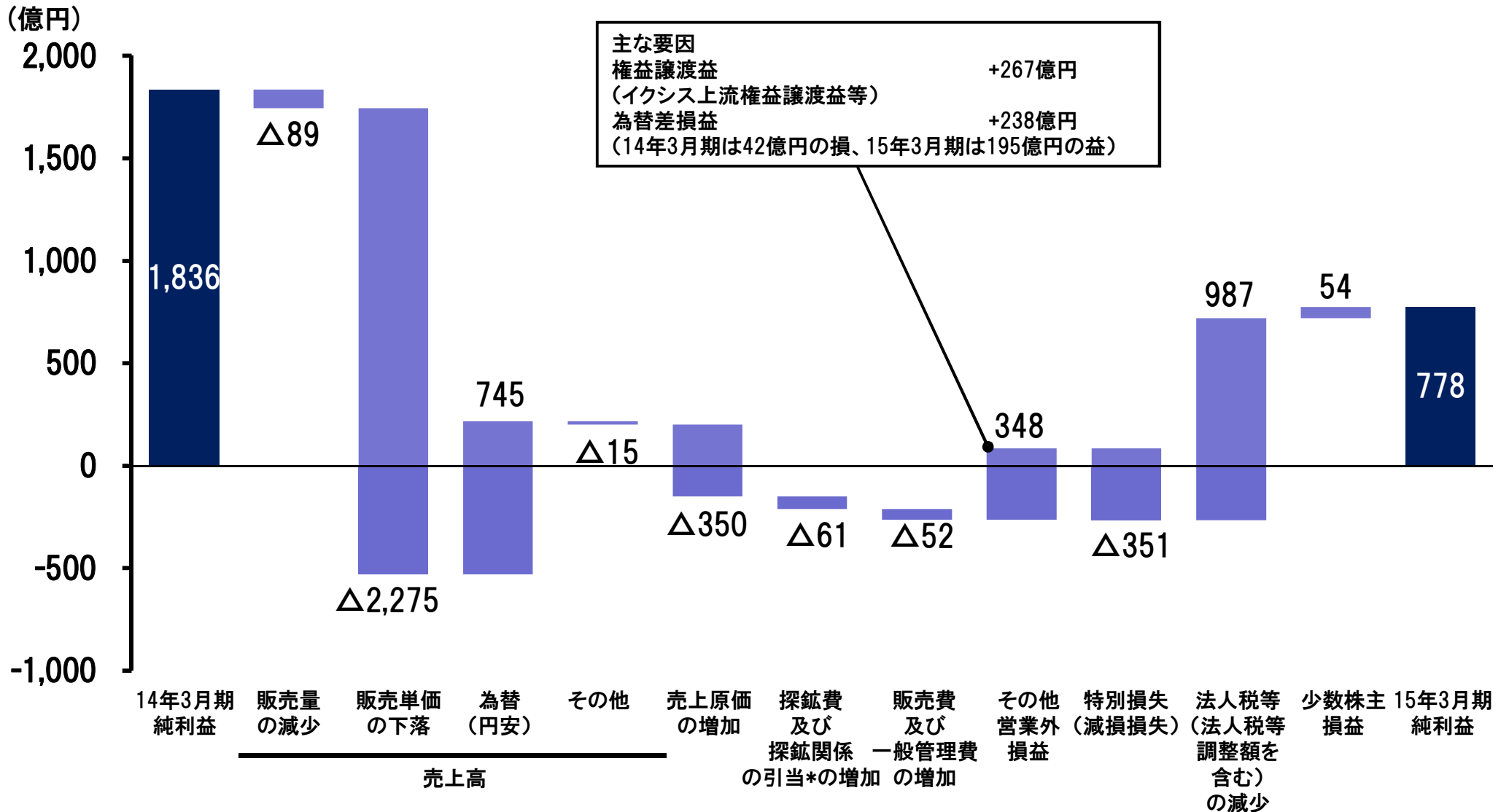
(億円)	14年3月期	15年3月期	増減	増減率	
売上高	13,346	11,712	△1,633	△12.2%	販売量の減少 △89 販売単価の下落 △2,275 為替(円安) +745 その他 △15
売上原価	4,904	5,254	350	7.1%	
売上総利益	8,442	6,457	△1,984	△23.5%	原油売上原価： 3,085 (増減) +147 天然ガス売上原価(注)： 2,020 (増減) +194 (注) LPGを含む。
探鉱費	282	232	△49	△17.6%	
販売費及び一般管理費	823	876	52	6.4%	
営業利益	7,336	5,348	△1,987	△27.1%	
営業外収益	507	1,017	510	100.6%	主な要因 権益譲渡益 (増減 +267) 為替差益 (増減 +195) 有価証券売却益 (増減 +78)
営業外費用	342	614	272	79.5%	
経常利益	7,500	5,751	△1,749	△23.3%	
特別損失(減損損失)	-	351	351	-	主な要因 生産物回収勘定引当金繰入額 (増減 +114) 持分法による投資損失(増減 +83) 固定資産除却損 (増減 +61)
法人税等合計	5,631	4,644	△987	△17.5%	
少数株主損益	32	△22	△54	-	
純利益	1,836	778	△1,058	△57.6%	ジョスリンオイルサンドプロジェクト： 275 チモール海共同石油開発地域 JPDA06-105鉱区プロジェクト： 75

# 営業外収益・費用

(億円)	14年3月期	15年3月期	増減	増減率
<b>営業外収益</b>	507	1,017	510	100.6%
受取利息	174	112	△62	△35.7%
受取配当金	92	66	△25	△27.7%
有価証券売却益	103	181	78	75.6%
権益譲渡益	7	275	267	-
為替差益	-	195	195	-
その他	129	186	57	44.4%
<b>営業外費用</b>	342	614	272	79.5%
支払利息	23	29	6	26.2%
持分法による投資損失	50	134	83	166.0%
生産物回収勘定引当金繰入額	80	194	114	142.3%
探鉱事業引当金繰入額	11	8	△3	△28.3%
為替差損	42	-	△42	△100.0%
固定資産除却損	0	62	61	-
その他	133	185	52	39.2%



# 2015年3月期 純利益 増減要因分析



# 貸借対照表

(億円)	14年3月期末	15年3月期末	増減	増減率
流動資産	11,402	13,424	2,022	17.7%
有形固定資産	9,517	14,976	5,458	57.3%
無形固定資産	4,391	4,587	195	4.5%
生産物回収勘定	6,859	7,032	173	2.5%
その他	9,444	6,187	△3,257	△34.5%
生産物回収勘定引当金	△1,234	△1,217	17	△1.4%
<b>資産合計</b>	<b>40,381</b>	<b>44,991</b>	<b>4,610</b>	<b>11.4%</b>
流動負債	3,756	3,652	△104	△2.8%
固定負債	6,664	8,452	1,788	26.8%
純資産	29,960	32,887	2,926	9.8%
(うち少数株主持分)	2,049	2,220	170	8.3%
<b>負債・純資産合計</b>	<b>40,381</b>	<b>44,991</b>	<b>4,610</b>	<b>11.4%</b>
1株当たり純資産 (円)*	1,911.25	2,099.95	188.70	9.9%

活用可能な手元資金残高※  
1兆2,632億円

・現預金	9,226億円
・長期預金	1,202億円
・有価証券	1,622億円
・活用可能な投資有価証券	580億円

※中長期ビジョンにおける2017年3月期までの投資に充当される待機資金

イクシス下流事業会社(持分法適用)の要約財務情報(100%ベース、内当社株式比率は62.245%)

・流動資産	426億円
・固定資産	2兆2,138億円
・総資産	2兆2,565億円

株主資本	
(利益剰余金)	+517億円
その他の包括利益累計額	+2,238億円
・有価証券評価差額金	+13億円
・繰延ヘッジ損益	△188億円
・為替換算調整勘定	+2,413億円

\*当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行いました。  
1株当たり純資産は、株式分割が2013年4月1日に遡及して適用されたものとみなして表示しております。

# キャッシュフロー

(億円)	14年3月期	15年3月期	増減	増減率
税金等調整前当期純利益	7,500	5,400	△2,100	△28.0%
減価償却費	509	525	16	3.1%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	670	755	85	12.7%
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△604	△607	△2	0.5%
法人税等の支払額	△5,671	△4,788	882	△15.6%
その他	△269	882	1,151	-
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>2,135</b>	<b>2,167</b>	<b>32</b>	<b>1.5%</b>
定期預金の預入による支出/払戻による収入	649	3,721	3,071	-
長期預金の預入による支出/払戻による収入	△3,533	△1,121	2,411	△68.2%
有形固定資産の取得による支出	△3,236	△4,483	△1,247	38.5%
有価証券・投資有価証券の取得による支出/売却による収入	3,232	2,566	△665	△20.6%
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△1,040	△704	336	△32.3%
長期貸付けによる支出/回収による収入	383	△1,111	△1,494	-
権益取得による支出	△427	△184	243	△56.9%
権益譲渡による収入	7	594	586	-
その他	9	△87	△97	-
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△3,955</b>	<b>△810</b>	<b>3,144</b>	<b>△79.5%</b>
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>489</b>	<b>△41</b>	<b>△531</b>	<b>-</b>
現金及び現金同等物の期末残高	1,175	2,609	1,434	122.1%

# 財務指標

INPEX

## 純有利子負債／使用総資本(ネット)\*

2014年3月期

2015年3月期

(31.9%)

(16.8%)

## 自己資本比率\*\*

69.1%

68.2%

2014年3月期

2015年3月期

## D/Eレシオ\*\*\*

20.9%

22.1%

2014年3月期

2015年3月期

\* 純有利子負債／使用総資本(ネット) = (有利子負債 - 現金及び預金 - 国債・地方債・社債等(時価のあるもの) - CP等 - 長期預金) / (純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金 - 国債・地方債・社債等(時価のあるもの) - CP等 - 長期預金)

\*\* 自己資本比率 = (純資産 - 少数株主持分) / 総資産

\*\*\* D/Eレシオ = 有利子負債 / (純資産 - 少数株主持分)

# 2016年3月期 連結業績予想

前提	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	65.0	65.0	65.0
為替レート(円/US\$)	120.0	120.0	120.0

通期	2015年3月期(実績)	2016年3月期(予想)	増減	増減率
売上高 (億円)	11,712	12,490	778	6.6%
営業利益 (億円)	5,348	4,890	△458	△8.6%
経常利益 (億円)	5,751	5,120	△631	△11.0%
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)	778	700	△78	△10.0%

## 第2四半期累計

売上高 (億円)	6,631	5,950	△681	△10.3%
営業利益 (億円)	3,467	2,340	△1,127	△32.5%
経常利益 (億円)	3,684	2,430	△1,254	△34.1%
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)	887	340	△547	△61.7%

1株当たり配当金(円)	第2四半期末	9.0	9.0
	期末	9.0	9.0
	年間	18.0	18.0

# 2016年3月期 販売量・投資額(予想)



		2015年3月期(実績)	2016年3月期(予想)	増減	増減率
販売量	原油 (千バレル) <sup>1</sup>	80,558	119,854	39,296	48.8%
	天然ガス (百万cf) <sup>2</sup>	309,485	322,271	12,786	4.1%
	うち海外分	242,807	252,417	9,610	4.0%
	うち国内分	66,679 (1,787百万m <sup>3</sup> )	69,854 (1,872百万m <sup>3</sup> )	3,175 (85百万m <sup>3</sup> )	4.8%
	LPG (千バレル) <sup>3</sup>	2,851	2,747	△104	△3.6%

		2015年3月期(実績)	2016年3月期(予想)	増減	増減率
開発投資額 <sup>4</sup> (億円)		9,290	9,890	600	6.5%
その他設備投資額 (億円)		279	380	101	36.2%
探鉱投資額 (億円)		726	570	△156	△21.5%
探鉱費および 探鉱関連引当額 <sup>5</sup> (億円)	探鉱費 232	435	探鉱費 131	△24	△5.5%
	探鉱関連引当額 202		探鉱関連引当額 280		
うち少数持分負担額 <sup>6</sup> (億円)		105	291	186	177.1%

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用  
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m<sup>3</sup>=37.32cfを使用  
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用  
 4 開発投資額にはイクシス下流事業を含む  
 5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額  
 6 少数株主による増資見合い分等

# 原油価格・為替レートのセンシティブリティ(1/2) **INPEX**

## ■ 油価・為替変動の2016年3月期当期純利益に与える影響額(注1)

油価1ドル上昇(下落)した場合(注2)	+30億円(△30億円)
為替(円/US\$)1円 円安(円高)になった場合	+12億円(△12億円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 営業損益部分(注3)</li> <li>➤ 外貨建資産・負債の評価差損益部分(注4)</li> </ul>	+19億円(△19億円) △7億円(+7億円)

(注1) 原油価格(Brent)の1年間を通じた期中平均価格が1ドル上昇(下落)した場合、為替が1円円安(円高)になった場合の、2016年3月期の当期純利益に対する影響額を、当年期初時点における財務状況を基に試算したものであり、あくまでも参考値であること、また影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、加えて油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。

(注2) 油価変動が当期純利益に与える影響であり、原油価格(Brent)の1年間を通じた期中平均価格の影響を受けます。

(注3) 為替変動が当期純利益に与える影響であり、期中平均為替レートの影響を受けます。

(注4) 期初時点の外貨建資産・負債の差額に対する為替の影響であり、前期末と当期末の為替レートの差の影響を受けます。期初時点では、外貨建負債が外貨建資産を上回っている状況であるため、円安が進行すると為替評価差損、円高が進行すると為替評価差益が発生しますが、次頁の通り、ドル建て債券の償還により、当期中には、センシティブティがゼロに近づく見通しです。

# 原油価格・為替レートのセンシティブリティ(2/2) **INPEX**

## 当社の外貨建資産・負債の為替管理

- ◆当社の外貨建資産・負債は、実質的にはバランスしております(下図ご参照)。
- ◆但し、一部の外貨建資産はドル建債券(下図緑色部分ご参照)で保有しており、当該部分の円安による含み益(円高進行時は含み損)は損益計算書には反映されず、貸借対照表の純資産の部「その他有価証券評価差額金」に計上されております。
- ◆ドル建債券は、2016年1月までに全て償還され、償還金はドル預金で保有する予定です。このため、2016年3月期中に、損益計算書上、為替差損益を発生させる外貨建資産・負債は徐々に均衡し、評価差損益部分のセンシティブリティはゼロに近づくことを見込んでおります。

